

# SG Report

## 1年SGコース夏季研修 JICA九州

北九州学術研究都市、JICA九州、熊本大学に協力していただき、1年SGコースの68名はそれぞれが希望するところで2泊3日の研修を行いました。当初予定していた日程は、台風接近により延期となりましたが、26名の生徒がJICA九州での研修に以下の日程で参加しました。

**【研修日程】日時：平成29年8月22日（火）～平成29年8月24日（木）**

1日目 午後 開校式

〔研修1〕JICA九州の概要説明（企業見学）

〔研修2〕国際理解教育ワークショップ

〔研修3〕フリーインタビュー準備（留学生8名程度が各グループにつきサポート）

\*ポスタープレゼンに向けてのデータ収集を兼ねたフリーインタビューの準備

\*アンケート結果検証のために、グループごとのテーマに沿ってアンケートの取り方などを留学生にアドバイスをもらいながら準備

〔研修4〕フリーインタビュー（グループ活動）

\*グループごとにテーマに沿ってアンケートをとる

〔研修5〕本日の振り返り、翌日の準備

2日目 午前 〔研修6〕インタビューのまとめ方についてのワークショップ

〔研修7〕留学生とのグループ交流Ⅰ

（本校生徒による自己紹介、アイスブレイキング、環境に関する質問など）

午後 〔研修8〕留学生とのグループ交流Ⅱ

研修7に引き続き、グループ交流。

〔研修9〕ディスカッション・まとめ

グループごとに交流で学んだ内容をまとめ、翌日の発表の準備を行う。

国際学生はいずれかのグループに固定でサポートに当たる

〔研修10〕本日の振り返り、翌日の準備

3日目 午前 〔研修11〕グループによる英語プレゼンテーション

閉校式

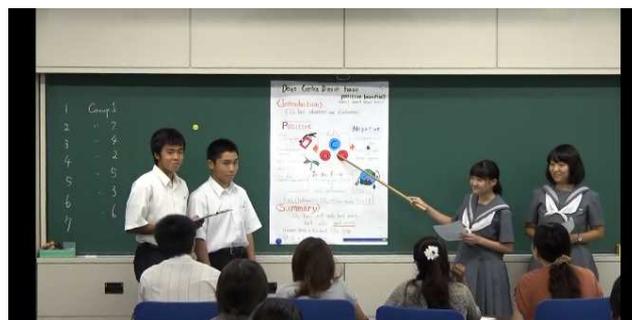
**【生徒の感想】（抜粋・おおむね原文のまま）**

今回のJICA研修では、外国にいるかのような感覚を覚える程、何か国もの外国人の方と接することができた。最初に留学生とバスの中で話した時もそうだったが、相手の話している言葉が聞き取れず、内容が理解できないまま話が続いていく場面が多かった。自分としては、話

を聞き取れない自分が情けなく、相手に申し訳ないと思っていた。しかし、メモ紙やジェスチャーを使って、必死にアピールすれば、相手も聞こうとして下さって、何とかコミュニケーションをとることが出来たと思う。特に一日目での初めてのインタビューは、かなり緊張したが、自ら行動することで得られる喜びを味わった。それは、エチオピアの方とのインタビューの中でエチオピア出身のオリンピック金メダリストであるアベベ・ビキラ選手をお互いに知っていると感じた瞬間、その方がうれしそうな顔をして、手を出してきた時の事は、とても鮮明に覚えている。その時は自分も、心の底から喜んでいると分かる程の興奮を味わった。言葉・文化の壁を越えて、意思疎通が出来た時の喜びは、本当に素晴らしいものだと思えた。また、今回の研修の目標であった英語プレゼンテーションについてだが、これは大いに留学生の方々に助けて頂いた。多くのアドバイスがある中で、今回のトピックと相性が合わないものもあったが、それは個人の研究の方に役立つ情報だったため、どれも貴重なものだった。他にもポスターのデザイン、文章の構成等々、自分たちがやりたい事、伝えるべき事もうまくまとめて下さった。プレゼン発表については、自分の予想以上に伝えられたと思う。しかし、改善点も見つかったため、そこは次のプレゼンで直して、より良いプレゼンを行いたい。この研修で学んだ教訓を忘れず、次に活かしていきたい。



今回の研修で、外国人に考えを伝えることの難しさ、プレゼンを1から作り始める大変さを知った。自分たちの班では、テーマが「貧富の差」であり、留学生にそれぞれの国の貧富の差について教えてもらったが、わかりやすく説明してもらえたものの、なかなか理解できず、何度も同じ説明をさせてしまった。特にインタビューでは、留学生以上に難しい言葉がポンポンと出てきて、何を



を言っているかが全く理解できなかった。わざわざ書いてもらって、それを和訳することでやっとわかったが、迷惑をかけてしまった。単語力をすごく上げるだけでもこの問題の大きな改善が望まれるので、受験英語に限らず、環境や産業の用語も覚えれば TOEIC 等にも使えるので、これを機会に勉強しようと思う。また、プレゼンを1から作り始めることで、「貧富の差」という範囲の広いテーマで作るのは、とても大変だった。当然書くことも少し難しくなり、知らない単語を多々使うことになった。しかも、今回はインターネットを使用することで作ったプレゼンであるが、実際は本を読み、それから情報を得て作らなければならないと思うと、すごく大変でやり切れるか不安になる。しかし、いずれやることになると思うので、目をそらさず、頑張ろうと思う。最後に全体的に見て行動が目にあまる部分があったので、ちゃんと落ち着いて集団行動という部分で修学旅行につなげようと思う。

私は JICA 研修を通して学んだことが4つあります。1つ目は英語で自分の意志をいう事の難しさです。自分の言いたいことはあるけれど、単語がわからなかったり、どのように表現すればいいかわからなかったりして、初めは伝えることができない事もありました。でも、3日間英語で会話をしていくうちに自分の意志を言うことができるようになり、意見が伝わった時

はとてもうれしくなりました。また、同時に英語でコミュニケーションをとることの楽しさを感じました JICA の研修生の方々にインタビューしたときに、それを最も強く感じました。2 つ目は英語を聞き取ることの難しさです。日本人が話す英語よりもスピードがけっこう速く、発音もとてもナチュラルだったので、聞いていてわからないところもありました。3 日間聞くうちに少しは慣れたと思うので、これからもたくさん英語を聞いてしっかり聞き取れるようになりたいです。3 つ目は日本と外国の環境の違いです。JICA の研修生の方々に「あなたの国で外来種に関する問題はありますか。」と聞いたところ、「NO」と答える方が多かったことに驚きました。日本ではあたりまえだと思っていたことも、外国では違うこともあるのだと実感しました。4 つ目は、プレゼンテーションの難しさです。時間内に言いたい事をおさめることや、図やグラフ、表などの活用をするのが難しかったです。これからもプレゼンする機会はたくさんあると思うので、その時に生かしたいと思います。留学生と話したり、JICA について学んだり、外国の食べ物を食べたり、この研修での経験はとても貴重なものだと思います。この貴重な経験を、これからの SG での活動や将来に生かしたいと思います。もっと英語をしゃべれるように努力し、ALT のカン先生ともたくさん会話して英語に慣れ、留学もしてみたいです。そして英語を使った仕事について、外国人ともっとコミュニケーションをとれるようになりたいです。今回の研修に行ってその夢が固まりました。

わたしは、この研修を通してコミュニケーションをとることの楽しさを学びました。今までわたしは人見知りが激しく、初対面の人に話かけることが全くできませんでした。でも、いざインタビューしてみると、思いのほか英語を聞きとることができ、英語のコミュニケーションをとることの楽しみを知りました。でも、やっぱりわからない英単語がたくさんあったので、語彙力をもっと強くしようと思いました。単語がわからないとやっぱり会話も楽しくないし、これからも留学生と関わるのがしたいので、頑張ろうと思います。他には、世界の食事を体験しました。JICA の職員の方が作ってくれるので、きっと日本人に合う味になっているんだろうけど、どれもおいしくて、見たこともない料理もたくさんありました。いつか世界中を回って本場の味を体験してみたいなと思いました。ポスター制作は正直とても大変でした。時間もなかったし、ポスターも作って、原稿も作って練習もして・・・本当に大変で寝る時間を削ったりもしました。原稿の添削を留学生にお願いしたときは、ほとんど間違っていて、心が折れそうになりました。でも、原稿の読む練習をしているとき、英単語の発音を 10 個くらい留学生に聞いていたとき、「You are a bit shy but the pronunciation is very good」と言われました。最初は前半の方しかわからなかったけれど、ジェスチャーも交えてくれたおかげで理解できました。理解した瞬間はものすごくうれしくて、ずっとニヤニヤしていたらしいです。その時は頑張っただけよかったなあと思いました。わたしたちのテーマは「二酸化炭素は本当に害なのか」という難しいテーマでした。途中で投げだしたくなったけど、作り終った後はものすごく達成感がありました。これからは、もっと語彙力を増やしていくことと積極的に話す勇氣を持つことを頑張りたいと思います。今回は留学生だったので、日本のことを理解してくれていましたが、実際の海外では、状況が全く違うので、それに対応できるような人になりたいです。留学したい、ダラム大学に行きたい。全力で頑張ります。

